

シメトリン・ピラゾキシフェン・プレチラクロール粒剤 ワンオール S 1キロ粒剤	取扱メーカー： 石原 原体メーカー： シンジェンタ、石原産業、 シンジェンタ
成分： シメトリン〔トリアジン系 PRTR・1種〕……………1.5% ピラゾキシフェン〔ピラゾール系 PRTR・1種〕……………18.0% プレチラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕……………4.5%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●水田一年生雑草から多年生雑草、難防除雑草のイボクサ、さらには藻類、アオミドロによる表層はく離等、広範囲の雑草に安定した効果を発揮する。

●非スルホニルウレア成分で構成されており、スルホニルウレア抵抗性のホタルイ、一年生広葉雑草（アゼナ、ミズハコベ）などに対しても高い防除効果を示す。

●藻類の発生前～発生初期の処理により、アオミドロ・藻類による表層はく離も抑え、その抑草期間はおよそ2～3週間が期待できる。

●適切な使用によって長期間雑草の発生を抑え、40日程度の残効が期待できる。

●水稲への影響が少なく、移植時（田植同時）から使用可能。

●周辺作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい等）への影響がほとんどない。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●雑草の発生前から生育始期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失ないように散布する。

●雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前～発生始（鞘葉抽出期）に有効なので、適期に散布する。必要に応じて、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

●オモダカに使用する場合は、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することにより効果が向上する。

●いぐさに使用する場合は、いぐさに適用のある他の除草剤と体系処理を行う。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	2葉期まで
オモダカ	発生始期まで
ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	発生期まで

【薬効・薬害等の注意】……………

●共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。

●藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。



【適用と使用方法】

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (東北) オモダカ(北陸, 関東・東山・東 海, 九州) ヒルムシロ (東北, 近畿・ 中国・四国) アオミドロ・藻 類による表層は く離	砂壤土 ～埴土	移植時	1 kg	田植同時 散布機で 施用	全域(北海 道を除く) の普通期及 び早期栽培 地帯	1 回 ※
			移植直後～ ノビエ 2 葉期 但し, 移植後 30 日まで		湛水散布		
い ぐ さ	水田一年生雑草	埴壤土 ～埴土	植付後～ 4 月中旬 (雑草発生前～ス ズメノテッポウ 3 葉期まで, ノビエ 1.5 葉期 まで)			九州	

※シメトリンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※ピラゾキシフェンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※プレチラクロールを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内